

鈴鹿の景況 2025 年上期
調査結果まとまる

景気悪化、利益圧迫も回復は鈍化傾向。

鈴鹿商工会議所
中小企業相談所

(総括)

鈴鹿商工会議所では、鈴鹿地域の企業の業況と今後の見通し、問題点等を把握するため、会員企業を対象に毎年1月と7月に景気動向調査を行っている。このたび2025年上期(1月～6月期)の調査結果がまとまった。

全体の景気動向として、前期調査(2024年7月～12月期)と比較すると、DI値は $\Delta 23.4$ となり、前期調査時($\Delta 18.8$)に比べ4.6ポイント悪化する結果となった。原材料の高騰の他、売上・受注の停滞減少や人手不足・人件費以外の経費の増加が利益を圧迫していると考えられる。

業種別に見ると、前期DI値と比較して製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業が悪化した。特に卸売業で悪化した。

また、見通しDI値も $\Delta 29.2$ (前期 $\Delta 30.8$)とやや改善を示しており、経済回復は改善の見通し。仕入単価や人件費の高騰で価格転嫁ができない、消費者の買い控えが続いているという意見が多く、アメリカとの相互関税の影響を受けていると回答した事業所もあり、依然として今後の業況は不透明である。

(対象 1,100 社 回答企業 240 社、 回答率 21.8%)

DI 値 (ディフュージョン・インデックス)

DIとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動(強気や弱気など)を知るためのものである。景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及がない限り、「増加」「好転」したとする企業から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差引いた値である。

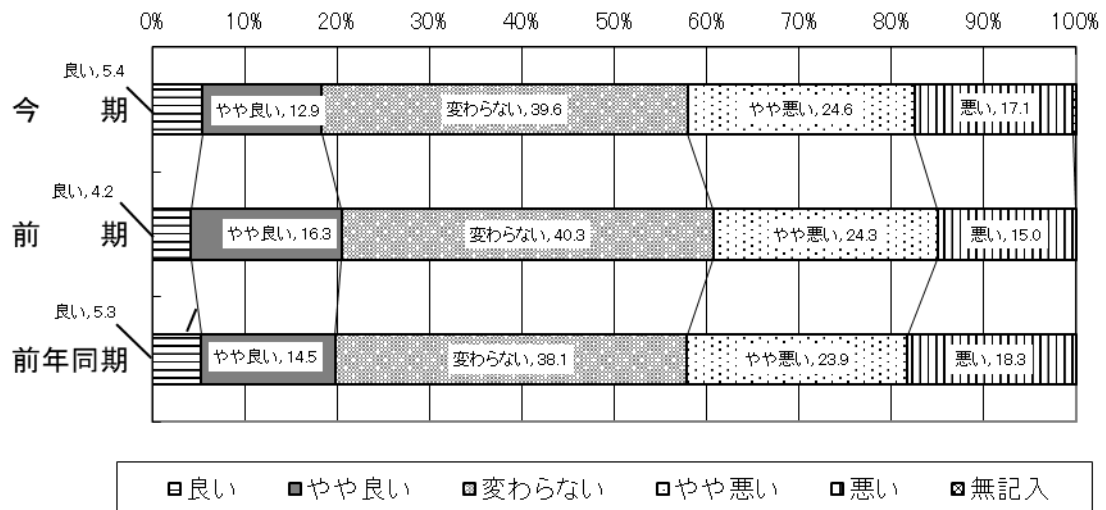
●現状の景気について (図-1・3 参照)

「良い」「やや良い」は18.3%(前期20.5%:前年同期19.8%)、「やや悪い」「悪い」は41.7%(前期39.3%:前年同期42.2%)となった。

景気動向を示すDI値は、 $\Delta 23.4$ (前期 $\Delta 18.8$:前年同期 $\Delta 22.4$)と前期より4.6ポイント、前年同期より1.0ポイントいずれも悪化している。

業種別では、製造業DI値 $\Delta 27.9$ (前期 $\Delta 27.4$:前年同期 $\Delta 37.7$)、建設業DI値 $\Delta 17.8$ (前期 $\Delta 13.0$:前年同期 $\Delta 9.5$)、卸売業DI値 $\Delta 36.4$ (前期7.2:前年同期7.7)、小売業DI値 $\Delta 26.2$ (前期 $\Delta 24.3$:前年同期 $\Delta 41.9$)、飲食業DI値 $\Delta 50.0$ (前期 $\Delta 37.5$:前年同期 $\Delta 20.0$)、サービス業DI値 $\Delta 26.4$ (前期 $\Delta 12.9$:前年同期 $\Delta 15.3$)、その他の業種DI値33.3(前期 $\Delta 23.5$:前年同期 $\Delta 34.5$)となった。

図－１ 現状について

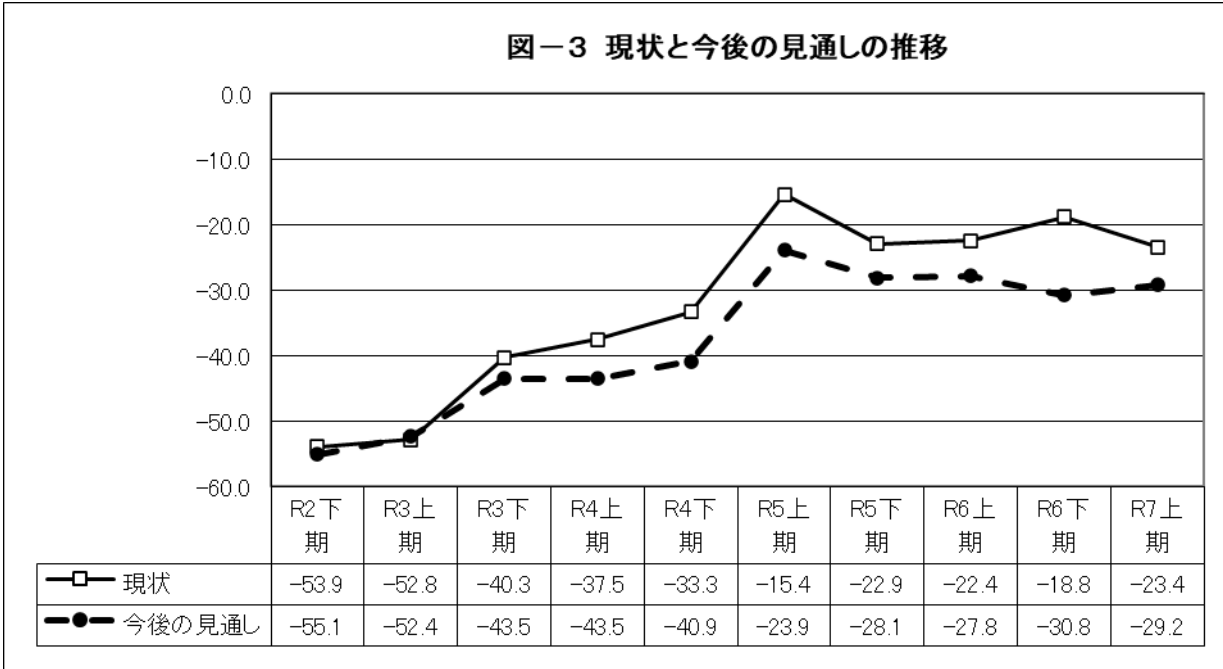
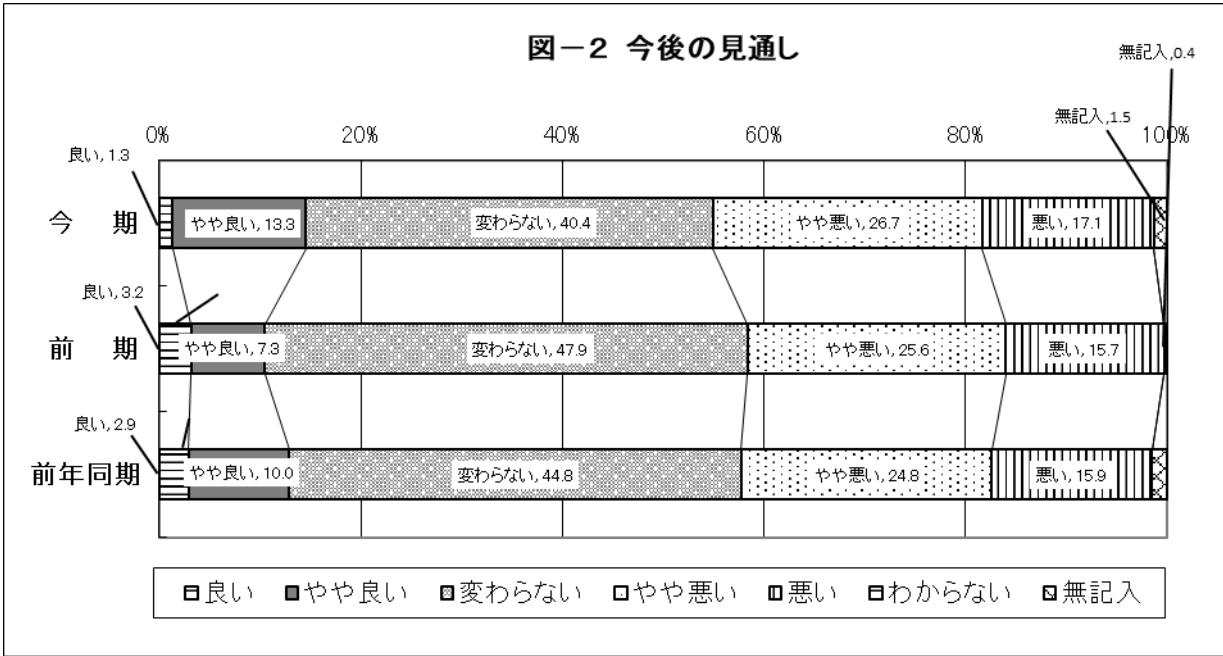


●今後の景気見通しについて（図－２・３ 参照）

「良い」「やや良い」は 14.6%（前期 10.5%：前年同期 12.9%）、「やや悪い」「悪い」は 43.8%（前期 41.3%：前年同期 40.7%）となった。

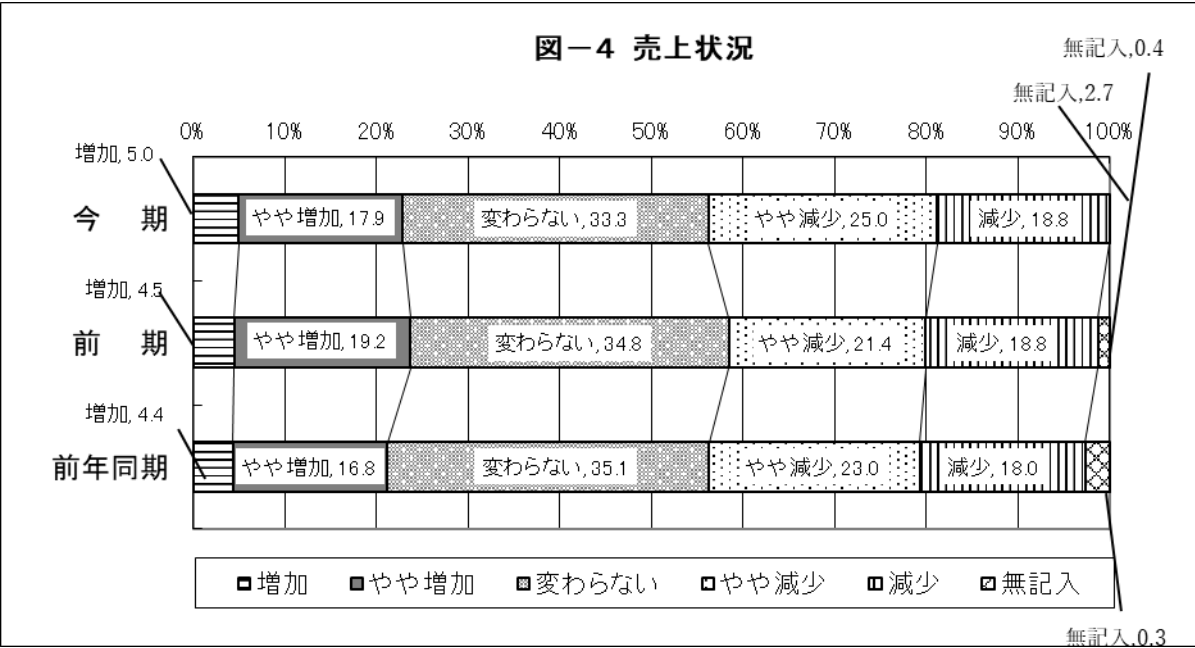
DI 値は、 $\Delta 29.2$ （前期 $\Delta 30.8$ ：前年同期 $\Delta 27.8$ ）と前期から 1.6 ポイント改善、前年同期より 1.4 ポイント悪化している。

業種別では、製造業 DI 値 $\Delta 46.5$ （前期 $\Delta 35.6$ ：前年同期 $\Delta 42.6$ ）、建設業 DI 値 $\Delta 27.4$ （前期 $\Delta 26.2$ ：前年同期 $\Delta 18.3$ ）、卸売業 DI 値 $\Delta 36.4$ （前期 $\Delta 7.1$ ：前年同期 $\Delta 15.4$ ）、小売業 DI 値 $\Delta 26.0$ （前期 $\Delta 56.7$ ：前年同期 $\Delta 39.6$ ）、飲食業 DI 値 $\Delta 45.0$ （前期 $\Delta 37.5$ ：前年同期 $\Delta 40.0$ ）、サービス業 DI 値 $\Delta 26.3$ （前期 $\Delta 27.8$ ：前年同期 $\Delta 13.4$ ）、その他の業種 DI 値 33.3（前期 $\Delta 5.8$ ：前年同期 $\Delta 38.0$ ）となった。



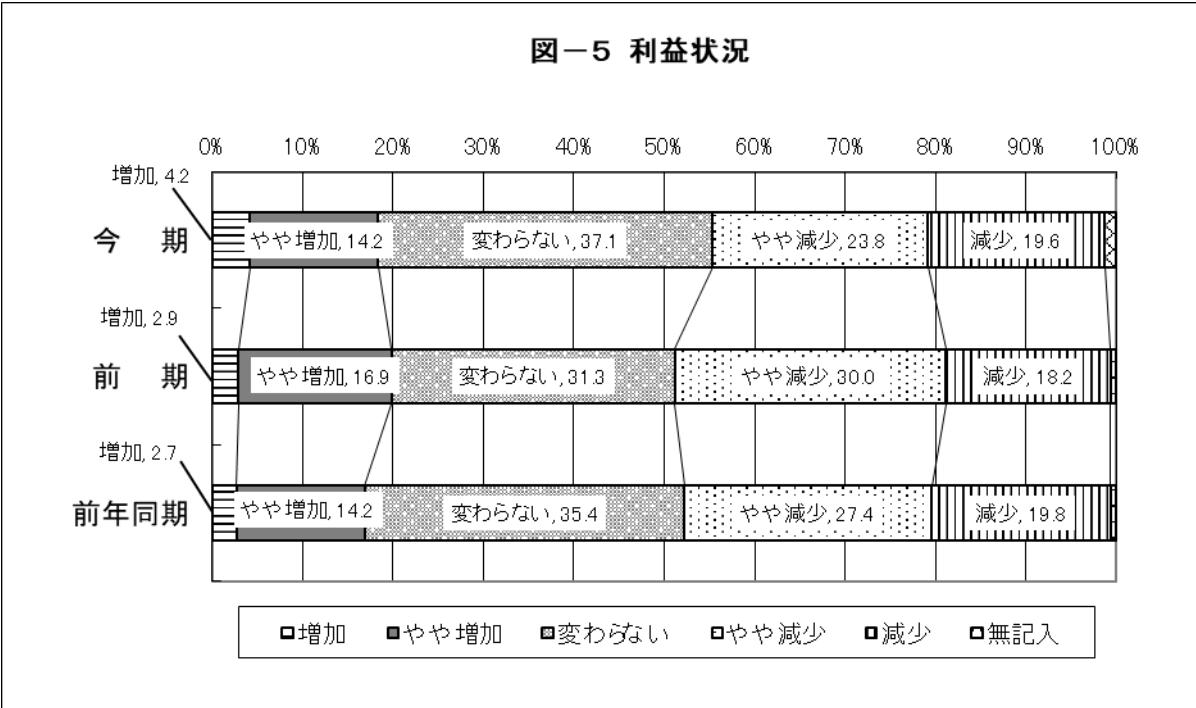
●売上状況について（図－４ 参照）

「増加」「やや増加」は 22.9%（前期 23.7%：前年同期 21.2%）、「やや減少」「減少」は 43.8%（前期 40.2%：前年同期 41.0%）となった。DI 値は△20.9（前期△16.5：前年同期△19.8）と前期より 4.4 ポイント、前年同期より 1.1 ポイントいずれも悪化している。



●利益状況について（図－５ 参照）

「増加」「やや増加」は 18.4（前期 19.8%：前年同期 16.9%）、「やや減少」「減少」は 43.4%（前期 48.2%：前年同期 47.2%）となった。DI 値は△25.0（前期△28.4：前年同期△30.3）と前期より 3.4 ポイント、前年同期より 5.3 ポイントいずれも改善している。



経営上の問題点（上位3位）

(%)

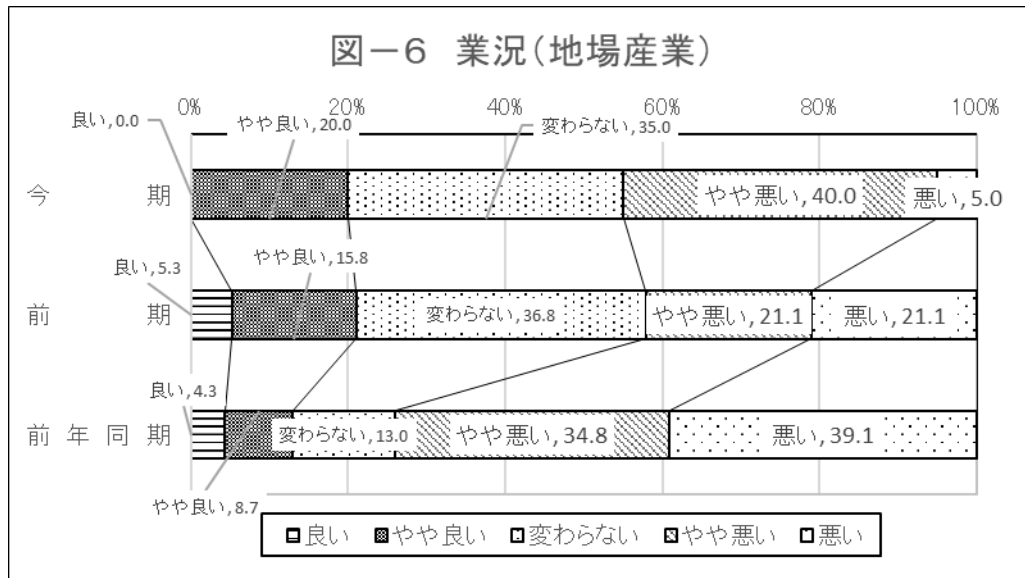
経営上の問題点(上位3位)				
				(%)
		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少	原材料高及び不足	設備店舗の狭小老朽化
		(48.8)	(30.2)	(27.9)
	卸 売 業	原材料高及び不足	売上・受注の停滞減少 人手不足	人件費の増加
		(45.5)	(36.4)	(27.3)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少	設備店舗の狭小老朽化	原材料高及び不足
		(43.5)	(37.0)	(26.1)
	建 設 業	人手不足	売上・受注の停滞減少	原材料高及び不足
		(47.6)	(34.5)	(29.8)
	飲 食 業	原材料高及び不足	売上・受注の停滞減少	人件費以外の経費増加
		(80.0)	(40.0)	(25.0)
	サ ー ビ ス 業	人件費以外の経費増加	売上・受注の停滞減少 原材料高及び不足	人手不足
		(36.8)	(26.3)	(21.1)
	交 通 運 輸 業	売上・受注の停滞減少 製品・商品単価の下落 人手不足	競争激化 立地条件の悪化 法的規制等の問題	税務・経理
		(33.3)	(33.3)	(33.3)
	そ の 他	設備店舗の狭小老朽化	人手不足 人件費の増加 原材料高及び不足	売上・受注の停滞減少・借入難 人件費以外の経費増加・人材育成
		(50.0)	(25.0)	(16.7)
	総 合	売上・受注の停滞減少	原材料高及び不足	人手不足
		(37.5)	(32.9)	(30.0)
前 年 同 期	売上・受注の停滞減少	原材料高及び不足	人手不足	
	(42.2)	(33.3)	(26.5)	

地場産業—自動車関連

●現状の業況と今後の業況見通しについて

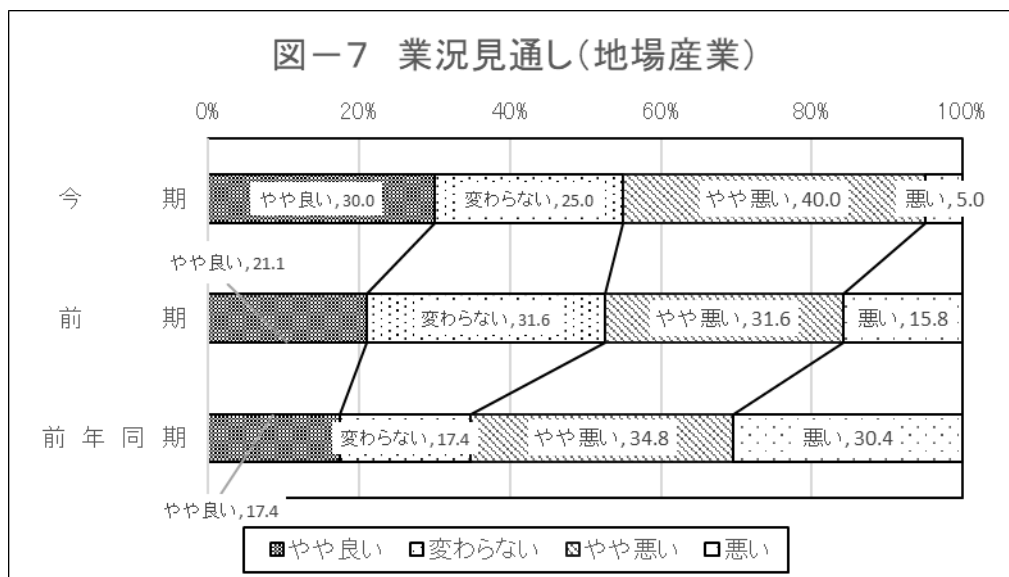
a) 現状の業況について (図-6 参照)

「良い」「やや良い」は 20.0% (前期 21.1% : 前年同期 13.0%)、「やや悪い」「悪い」は 45.0% (前期 42.2% : 前年同期 73.9%) となった。DI 値は△25.0 (前期△21.1 : 前年同期△60.9) と前期より 3.9 ポイント悪化、前年同期では 35.9 ポイント改善している。



b) 今後の業況見通しについて (図-7 参照)

「良い」「やや良い」は 30.0% (前期 21.1% : 前年同期 17.4%)、「やや悪い」「悪い」は 45.0% (前期 47.4% : 前年同期 65.2%) となった。DI 値は△15.0 (前期△26.3 : 前年同期△47.8) と前期より 11.3 ポイント、前年同期より 32.8 ポイントいずれも改善している。



●売上状況と今後の見通しについて

a) 売上状況について

「増加」「やや増加」30.0%（前期 21.1%：前年同期 13.1%）、「やや減少」「減少」は 45.0%（前期 42.1%：前年同期 73.9%）となった。DI 値は△15.0（前期△21.0：前年同期△60.8）と前期より 6.0 ポイント、前年同期より 45.8 ポイントいずれも改善している。

b) 売上の見通しについて

「増加」「やや増加」は 25.0%（前期 15.8%：前年同期 17.4%）、「やや減少」「減少」は 40.0%（前期 47.4%：前年同期 47.8%）となった。DI 値は△15.0（前期△31.6：前年同期△30.4）と前期より 16.6 ポイント、前年同期より 15.4 ポイントいずれも改善している。

●利益状況について

「増加」「やや増加」は 35.0%（前期 26.3%：前年同期 8.7%）、「やや減少」「減少」は 45.0%（前期 42.1%：前年同期 78.3%）となった。DI 値は△10.0（前期△15.8：前年同期△69.6）と前期より 5.8 ポイント、前年同期より 59.6 ポイントいずれも改善している。

■お問い合わせ

鈴鹿商工会議所中小企業相談所

TEL：059-382-3222

FAX：059-383-7667